

❖ 科目名 Course Title			
生涯スポーツ概論			
❖ 担当教員 Instructor			
山本 理人			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	2
❖ 履修可能人数 Capacity	20	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class			

❖ キーワード Key Words			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
<p>本授業の目標は、生涯スポーツという理念、およびその変遷と社会的背景を理解し、生涯スポーツの意義について理解を深めることです。さらに、地域で展開されているスポーツ活動の具体的事例を考察しながら、わが国のスポーツ推進のあり方やスポーツ環境の整備についてより理解を深め、具体的な検討ができるようになることです。</p>			
❖ 授業概要 Course Description			
<p>本授業は、生涯スポーツという理念とその背景にある生涯学習ならびにスポーツ・フォア・オール の概念を理解することを出発点とし、生涯スポーツの歴史と変遷を学び、生涯スポーツの現状と課題について理解を深めることを主な内容としています。</p>			
❖ 到達目標 Course Goals			
<p>授業を通して、以下に示す4つの資質・能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯スポーツという理念やその意義について理解している。 2. 生涯スポーツの変遷やその社会的背景について説明することができる。 3. 生涯スポーツの具体的な事例について考察できる。 4. わが国の生涯スポーツに関する現状と課題について検討できる。 			
❖ 授業計画 Course Schedule			
<p>第1週 オリエンテーション 【生涯スポーツという理念】</p> <p>第2週 「生涯スポーツ」という言葉の意味</p> <p>第3週 生涯学習と生涯スポーツ</p> <p>第4週 スポーツ・フォア・オールと生涯スポーツ</p> <p>第5週 生涯スポーツという理念 【社会の変遷と生涯スポーツ】</p> <p>第6週 スポーツの多様化（行う、観る、支える）と生涯スポーツ</p> <p>第7週 わが国におけるスポーツ政策の変遷と生涯スポーツ</p> <p>第8週 ライフステージ、ライフイベントと生涯スポーツ</p> <p>第9週 女性と生涯スポーツ</p> <p>第10週 障害児者と生涯スポーツ 【生涯スポーツの実際】</p> <p>第11週 欧米の生涯スポーツ（ドイツの事例に焦点を当てて）</p> <p>第12週 学校開放事業と総合型地域スポーツクラブ</p> <p>第13週 総合型地域スポーツクラブの実際</p> <p>第14週 学校体育と生涯スポーツ</p> <p>第15週 わが国における生涯スポーツの現状と課題・まとめ</p>			
❖ 成績評価 Grading System			
<p>定期試験で到達目標 1 から 3 の到達度を評価します（75%）。講義内のディスカッションで到達目標 4 を評価します（25%）。</p>			
❖ テキスト Textbooks			
<p>テキストは使用しません。資料を適宜配布します。</p>			

<p>❖ 参考書 Reading List</p> <p>クリストフ・ブロイアー 編著, 黒須充 監訳, 「ドイツに学ぶスポーツクラブの発展と社会公益性」, 創文企画, 2010.</p> <p>池田勝 編著, 「生涯スポーツの社会経済学」杏林書院, 2002.</p> <p>金崎良三, 「生涯スポーツの理論」不昧堂出版, 2000.</p> <p>菊幸一・齋藤健司・真山達司・横山勝彦 編集, 「スポーツ政策論」, 成文堂, 2011.</p> <p>黒須充・水上博司 編著, 「スポーツ・コモンズ ～総合型地域スポーツクラブの近未来像～」, 創文企画, 2014.</p> <p>森川貞夫 編著, 「生涯スポーツのすすめ ～みんなのスポーツの社会学～」, 共栄出版, 1984.</p> <p>永島惇正, 森司郎, 山本理人, 落合優, 大久保洋子, 武隈晃, 「生涯学習社会のスポーツ指導(全3巻) 第2巻 生涯学習生活とスポーツ指導」, 北樹出版, 2000.</p> <p>島崎仁, 「スポーツに遊ぶ社会にむけて ～生涯スポーツと遊びの人間学～」, 不昧堂出版, 1998.</p> <p>安井友康, 千賀愛, 山本理人, 「障害児者の教育と余暇・スポーツ ドイツの実践に学ぶインクルージョンと地域形成」, 明石書店, 2012.</p>
<p>❖ 準備学習 Homework</p>
<p>❖ オフィスアワー Office Hour</p> <p>水曜日・13:00～14:30 yamamoto.rihito@i.hokkyodai.ac.jp</p>
<p>❖ 連絡先 (E-mail) E-mail</p> <p>yamamoto.rihito@i.hokkyodai.ac.jp</p>
<p>❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information</p>
<p>❖ 履修上の注意 Notes</p>
<p>❖ 備考 Other Information</p>

- ※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。
- ※「履修可能人数」は、科目提供大学以外の人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)
- ※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。